



# 『自治体産業政策の新展開 産業集積の活用とまちづくり的手法』

梅村仁 ミネルヴァ書房

本館	請求記号：K/601/U72	資料ID：111093019
Knowledge Base	請求記号：/601/U72	資料ID：111496709

## 経済学部教授 河藤 佳彦

本書の筆者は、研究者としての見識と自治体における実務経験を活かし、学術的理論に実践的視点を加え、都市地域を中心とした自治体産業政策に関する実態分析と将来展望を行っています。そこでは、都市自治体の産業政策における、産業集積の活用とまちづくり的手法の有効性に関する考察が丁寧に進められています。

本書は、地域経済活性化に果たす産業集積の役割に着目し、その発展の促進が都市地域における自治体産業政策の重要な役割と捉えています。まず、自治体産業政策、産業集積の各々の意義や現状、両者の関係性を詳しく確認し考察を行っています。次に、自治体における従来型産業政策について現状と課題を考察し、従来型産業政策によっては産業集積の衰退を食い止めることができないとして、新たな政策展開の方策が必要であると論じています。それが、「まちづくり」と「ものづくり」の融合的な自治体政策や学習政策の推進です。そして最終的には、産業集積の政策モデルとして、「のれん別れ」的なスピノフ形態による企業創出の促進や、まちづくり的手法としての「学習」を機軸とした政策とリンクすることによる、技術継承や後継者等の問題解決（事業承継）の可能性を提示しています。

国の産業政策との比較における、自治体産業政策に特徴的な点は、地域との強い関係性として捉えられます。それは、土地利用との関係性であり、また地域の諸主体との関係性であると言えます。